

デザインの可能性

空間論
演習2授業期間の毎週金曜日18時～風光館3階F-331教室(フォーラム)にて
(都合により会場を変更する場合があります。変更はTwitter (<https://twitter.com/seikaarchitect>) 等でお知らせします。)2016/10 -
2017/02

この連続レクチャーシリーズは、デザイン学部教員及びゲスト講師がデザインをめぐる対談や講演を行います。デザインに関する各領域を超えて、さまざまな角度からの視点を捉えることで新たな発想が生まれ、思考の可能性が広がることを期待します。デザイン学部の授業「空間論演習」となっていますが、オープン講義ですので他の学部・学科の学生や一般の皆様も自由に聴講できます。参加費無料につき是非ご参加ください。

10 07	013	「女性が世界をデザインする」 倉橋睦美 (ホリスティックライフカウンセラー/メゾン・ド・プリエ代表)
10 14	014	「メディアイーターとは」 龍國英 (メディアイーター/LIU Work Link 代表)
10 21	015	「空き家再生まちづくり」 坂東幸輔 (建築家/京都市立芸術大学講師)
10 28	016	「『文脈の理解と物語の構築』から考えるデザインリサーチャーの仕事」 浅野翔 (デザインリサーチャー)
11 18	017	「建築の開口部化」 竹口健太郎 + 山本麻子 (建築家/アルファヴィル)
11 25	018	「ソーシャルデザインの目で見たら」 兼松佳宏 (勉強家/京都精華大学人文学部 特任講師)
12 02	019	「写真と現場にいるという行為の関係性」 井上嘉和 (カメラマン)
12 09	020	「デザインと建築を信じられるか？」 坂口恭平 × 角田純 (建築家/作家/芸術家/音楽家) × (アートディレクター/美術作家/京都精華大学特任教授)
12 16	021	「デザインがモノづくりのためにできること。」 金谷勉 × サノワタル (CEMENT PRODUCE DESIGN 代表取締役) × (iroirodesign代表/京都精華大学非常勤講師)
12 23	022	「敷地」 中村竜治 (建築家)
01 06	023	「職能の拡張 - 地方でデザインを仕事にすること -」 新山直広 (デザインディレクター/TSUGI代表)
01 13	024	「アートディレクションからの“超”領域デザイン」 大垣ガク (アートディレクター/アシタノシカク株式会社)
02 03	025	「プロダクトデザインの役割」 秋田道夫 (プロダクトデザイナー)

2016年度後期 Guest selector: 小山格平(プロダクトデザイン学科プロダクトコミュニケーションコース)、志萱晃一(ビジュアルデザイン学科グラフィックデザインコース)、中村光宏(イラスト学科イラストコース)、葉山勉(建築学科建築コース)、後藤直子(建築学科建築コース)。Coordinator: 葉山勉、後藤直子。

【お問い合わせ先】京都精華大学デザイン学部建築学科・京都市左京区岩倉木野町137・<http://arc.kyoto-seika.ac.jp/>・E-mail⇒architect@kyoto-seika.ac.jp・twitter⇒@seikaarchitect・【京都精華大学へのアクセス】叡山電鉄「京都精華大前駅」下車すぐ・地下鉄「国際会館駅」3番出口右30mの専用バス停よりスクールバス

倉橋睦美 (Mutsumi KURAHASHI)

013「女性が世界をデザインする」

1971年京都生まれ。医療従事者として病院勤務中、色とイメージ、デザインの世界に夢になるうち気づけばインテリアコーディネーターへ。顧客の想いやニーズを形だけでなく、在り方や幸福度までホリスティック(全体的)に提案することを得意とする。現在はホリスティックライフカウンセラーとして「マインド・身体・表現」の視点から、本来の能力を引出し、自らの人生を自分らしくクリエイトするサポートを行う。ホリスティックビューティーサロン メゾン・ド・プリエ代表。

龍國英 (Mario RYU)

014「メディアエーターとは」

1999年京都精華大学大学院芸術研究科修了。株式会社高松伸建築設計事務所台湾事務所代表を経て、2005年L.I.U Work Link 設立。山形県酒造組合海外戦略委員会コーディネーター、忠泰生活開発クリエイティブアドバイザー、台湾土地開発クリエイティブアドバイザー、雑誌2535 首席顧問、中川政七商店アジア地区エージェント、環園建設グループ顧問、忠泰建築芸術文化ファウンデーションクリエイティブアドバイザー。現在、メディアエーターとして、日本と台湾をはじめ、アジアをつなぐ活動をマルチに展開中。

坂東幸輔 (Kosuke BANDO)

015「空き家再生まちづくり」

1979年徳島県生まれ。2002年東京藝術大学美術学部建築科卒業。2008年ハーバード大学大学院デザインスクール修了。スキーマ建築計画、東京藝術大学美術学部建築科教育研究助手を経て、2010年坂東幸輔建築設計事務所設立。2015年京都市立芸術大学講師、京都工芸繊維大学非常勤講師。徳島県神山町、牟岐町出羽島、北海道浦幌町など日本全国で「空き家再生まちづくり」の活動を行っている。主宰する建築家ユニットBUSが第15回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展(2016)日本館展示に出席、審査員特別表彰を受ける。

浅野翔 (Kakeru ASANO)

016『文脈の理解と物語の構築』から考えるデザインリサーチの仕事」

1987年生まれ、デザインリサーチャー。2011年京都工芸繊維大学工学部造形工学課程建築コース卒業後、2014年同大学院工学部研究科デザイン経営工学専攻、修了。同年、名古屋を拠点に、デザインリサーチャー、サービスデザイナーとして活動を始める。「愛知県で伝統工芸の中に障がいのある人の働く場所をつくる」Good Job! プロジェクトなど、領域横断するプロジェクトのディレクターを務める。DESIGNEASTプロジェクトマネージャー(2013-)、ARIMATSU PORTAL PROJECT 実行委員(2014-)など。http://kakeruasano.com

竹口健太郎+山本麻子 (Kentaro TAKEGUCHI + Asako YAMAMOTO)

017「建築の開口部化」

建築家。1971年生まれ。京都大学修士課程修了。ヨーロッパ留学を経て1998年アルファヴィルを共同設立。建築作品として『カトリック鈴鹿教会』、『高野山ゲストハウス』『HOUSE TWISTED』など。日本建築設計学会賞、JIA関西建築家新人賞、Design for Asia Gold Award(香港)、Daylight Space Award(オーストリア)受賞や作品集『ALPHAVILLE ARCHITECTS』(EQUAL BOOKS、韓国)、『COME GIARDINI』(LIBRIA、イタリア)の出版など国を超えて活動している。

兼松佳宏 (Yoshihiro KANEMATSU)

018「ソーシャルデザインが目で見たら」

1979年生まれ。元「greenz.jp」編集長。2016年、フリーランスの勉強家として独立し、京都精華大学人文学部特任講師、勉強空間をリノベーターするプロジェクト「everyone's STUDYHALL」発起者、ことば遊びワークショップユニット「cotone cotone」メンバーとして、教育分野を中心に活動中。著書に『ソーシャルデザイン』、『日本をソーシャルデザインする』、連載に「空海とソーシャルデザイン」など。秋田県出身、京都府在住。一児の父。

井上嘉和 (Yoshikazu INOUE)

019「写真と現場にいるという行為の関係性」

1976年生まれ。1997年頃から関西の身近なアーティストやバンドのライブ写真を撮り始める。その後ライブ撮影を続けながら雑誌、メディア、広告媒体にも活動を広げ2010年から劇団維新派のオフィシャルカメラマンとなり数々の舞台撮影を行う。2015年に株式会社井上写真事務所を設立し活動の幅を広げながら継続してライブ、舞台に拘った撮影を続けている。

坂口恭平 (Kyohei SAKAGUCHI)

020「デザインと建築を信じられるか?」

1978年、熊本県生まれ。建築家、作家、芸術家、音楽家。2004年、路上生活者の住居を収めた写真集「0円ハウス」を刊行。「ゼロから始める都市型狩猟採集生活」などで0円で生活する術をしめす。2011年、震災をきっかけに新政府を樹立し、「独立国家のつくりかた」を発表。2014年、小説「幻年代代」で第35回熊日出版文化賞受賞、小説「徘徊タクシー」が第27回三島由紀夫賞候補となる。近著に「ズームイン、服!」「幸福な絶望」などがある。

角田純 (Jun TSUNODA)

アートディレクター、美術作家。1960年生まれ。広告、出版業界にて多数のデザイン、アートディレクションを手掛ける。2000年ごろからは、絵画やコラージュ、シルクスクリーンなどの作品発表や画集の出版など、美術作家としての活動にも精力的に取り組む。主な著書に「MEXICO:ICONS」2000年、「グラフィック・デザイナーの仕事」2003年、「CAVE」2009年などがある。現在、京都精華大学特任教授。

金谷勉 (Tsutomu KANAYA)

021「デザインがモノづくりのためにできること。」

京都精華大学人文学部卒業後、企画制作会社に入社。その後広告制作会社を経て、1999年「CEMENT PRODUCE DESIGN」を設立。グラフィック、Web、プロダクトを手がける。PARCOの広告デザイン、フランフランとの商品企画開発、UNIQLO「企業コラボレーションシャツ」のディレクションなど幅広くデザイン、プロデュース。現在は日本各地の地場産業の方々と協業しモノづくりを行い、流通まで担うプロジェクトに取り組んでおり、「ガイアの夜明け」や「NHK WORLD」でその活動が取り上げられた。

【お問い合わせ先】京都精華大学デザイン学部建築学科・京都市左京区岩倉木野町137・http://arc.kyoto-seika.ac.jp/・E-mail⇒architect@kyoto-seika.ac.jp・twitter⇒@seikaarchitect・【京都精華大学へのアクセス】叡山電鉄「京都精華大前駅」下車すぐ・地下鉄「国際会館駅」3番出口右30mの専用バス停よりスクールバス

サノワタル (Wataru SANO)

2006年から「地域」「デザイン」「コミュニティ」をコンセプトにした活動を京都を中心に展開。実践するひとつの形として、オンラインマガジン「Refsign Magazine Kyoto」を創刊。2010年には自らプロデュース・デザインしたイタリア料理店「Osteria tempo」オープン。2013年4月「いろいろデザイン」設立。同年9月からデザイン事務所・飲食店・ショップの機能を融合したiroiroがオープン。2015年から「いろいろスクール」など、いろいろなデザイン活動・制作に取り組む。

中村竜治 (Ryuji NAKAMURA)

022「敷地」

1972年長野県生まれ。青木淳建築計画事務所を経て、2004年に中村竜治建築設計事務所を設立。主な仕事に、へちま(椅子/サンフランシスコ近代美術館所蔵)、空気のような舞台(新国立劇場オペラ「ル・グラン・マカーブル」舞台美術)、とうもろこし畑(東京国立近代美術館「建築はどこにあるの? 7つのインスタレーション」)、梁(東京オペラシティ・アート・ギャラリー「感じる服考える服」東京ファッションの現在形)会場構成)、M邸など。著書に「コントロールされた線ととれない線」(LIXIL出版)。

新山直広 (Naohiro NIYAMA)

023「職能の拡張 - 地方でデザインを仕事にするということ -」

1985年大阪府生まれ。京都精華大学デザイン学部建築分野卒業。2009年福井県鯖江市に移住。応用芸術研究所を経て、鯖江市役所在職中の2013年、移住者たちとデザイン+ものづくりユニット「TSUGI」を設立。以降、未来の産地を醸成する様々なプロジェクトを展開し、2015年に法人化。デザインディレクターとして“支える・作る・売る”をキーワードに、地域や地場産業のブランディングを手掛ける。京都職人工房講師・福井県伝統工芸職人塾座学コーディネーター。

大垣ガク (Gaku OGAKI)

024「アートディレクションからの“超”領域デザイン」

1976年北海道生まれ。2013年「アジアノシカク株式会社」設立。CI、VI、広告企画・デザイン、web、パッケージデザイン、プロダクト開発、web 等、ブランディングを視野においたコンセプト及び視覚コミュニケーション全般をアートディレクション&デザインすることで、効果と実績をあげている。ブランディングと広告・プロモーションをVI 基点でブリッジさせ、コミュニケーション効果を最大化するBRANDING BRIDGE を提唱。

秋田道夫 (Michio AKITA)

025「プロダクトデザインの役割」

1953年大阪府生まれ。1977年愛知県立芸術大学美術学部デザイン科卒業。同年トリオ株式会社(現・ケンウッド)入社。1982年ソニー株式会社入社。1988年よりフリーランス・プロダクトデザイナーに。デバイスタイルの「一本用ワインセラー」、生活家電シリーズ「MA」、ココロIDカードホルダー「HUBSTYLE」、ステンレスステーションナリ「プリマリオ」、また薄型LED歩行者用信号機やセキュリティーゲート、非接触IDカード「COCA」のチャージ機など、公共機器の製品デザインも手掛けている。

<Guest selector>

小山格平 (Kohei KOYAMA)

京都市立芸術大学美術研究科プロダクトデザイン修士課程修了。電機メーカーインハウスデザイナーとして勤務後、フリーランスのデザイナーとして活動。主に生活用具・音響機器・産業機器等のデザインに携わる。現在、京都精華大学デザイン学部プロダクトデザイン学科教授。

志萱晃一 (Koichi SHIGAYA)

京都精華大学美術学部デザイン学科卒業。株式会社アーツ、レオバーネット協同株式会社(現 ビーコン・コミュニケーションズ)を経て、オグルヴィ&メイザー、JWT、TBWA博報堂などの外資系広告代理店において、クリエイティブディレクターを務める。FRISK、ハーゲンダッツ、アメリカンホーム保険などを担当。現在、京都精華大学デザイン学部ビジュアルデザイン学科准教授。

中村光宏 (Mitsuhiro NAKAMURA)

京都精華大学美術学部デザイン学科を卒業後、レオ・バーネット協同株式会社(現・ビーコンコミュニケーションズ)入社。その後、株式会社イマ(現・アマナ)を経て、1995年、N.D.O.を設立、現在に至る。シユウ ウェムラ化粧品、NHK交響楽団のアートディレクションから書籍・CDジャケットのグラフィックデザインなどを手掛ける。現在、京都精華大学デザイン学部イラスト学科准教授。

<Guest selector + Coordinator>

葉山勉 (Tsutomu HAYAMA)

建築家。京都精華大学建築学科教授。京都工芸繊維大学大学院修了。有限会社スクール代表取締役、スクール・アーキテツツ1級建築士事務所代表。受賞歴:仙台市近代文学館設計競技特別選賞、グッドデザイン賞 他。著作:『子どもと空間』、『中にはいってみよう』他。

後藤直子 (Naoko GOTO)

PLACE LAB 一級建築士事務所主宰。1972年生まれ。京都精華大学美術学部デザイン学科卒業。若林広幸建築研究所等を経て、2006年PLACE LABを設立。建築設計、店舗デザインの他、グラフィックデザイン、企画や広報の活動も行う。現在、京都精華大学建築学科非常勤講師。

後藤直子 (Naoko GOTO)

PLACEMENT LAB 一級建築士事務所主宰。1972年生まれ。京都精華大学美術学部デザイン学科卒業。若林広幸建築研究所等を経て、2006年PLACE LABを設立。建築設計、店舗デザインの他、グラフィックデザイン、企画や広報の活動も行う。現在、京都精華大学建築学科非常勤講師。

【お問い合わせ先】京都精華大学デザイン学部建築学科・京都市左京区岩倉木野町137・http://arc.kyoto-seika.ac.jp/・E-mail⇒architect@kyoto-seika.ac.jp・twitter⇒@seikaarchitect・【京都精華大学へのアクセス】叡山電鉄「京都精華大前駅」下車すぐ・地下鉄「国際会館駅」3番出口右30mの専用バス停よりスクールバス

